

〈支援企業を訪問しました〉

## 株式会社 赤熊不動産鑑定所殿

「地元志向・民間部門の営業強化により、地元・需要者に貢献！」

(株)赤熊不動産鑑定所(赤熊 正保社長 上尾市)は、現社長が昭和50年に創業し昭和63年に法人化した不動産鑑定業務および不動産に関するコンサルティングを営む業者です。不動産鑑定とは、国家試験に合格した不動産鑑定士が利害に関係しない第三者の視点で不動産の価値を客観的に評価する業務です。最も馴染みのあるのが公示地価の評価ですが、他にも公共関連では土地収用や不動産競売時の評価、民間関係では不動産の売買や賃料改定時の評価、相続時の資産評価、会社合併時等の不動産評価等があります。赤熊社長は埼玉県における不動産鑑定業の草分けの一人で、設立以来「誠実・適正」をモットーに業容を拡大してきました。

不動産鑑定士は実務経験42年1名と10年2名、実務補助職員7名のうち3名が経験16年以上と、多くの優秀なスタッフを抱えているという当社の強みを活かしてきた結果、国、県、市町、裁判所等の公共関連の不動産鑑定評価の依頼が多くなっていました。しかし昨今、不動産鑑定事務所は年々増加しこの分野の依頼は減少傾向にあります。打開策として、赤熊社長は「地元志向、民間部門の営業強化」の方針を打ち出しました。



赤熊社長

民間部門は、①税理士・弁護士との連携、②金融機関自体および金融機関のお客紹介・相談、③一般企業・個人からの相談等が主になりますが、いずれもいかにWin-Winの関係を築いていくかがポイントになります。社内的には営業専任者を置き、自らもトップセールスに赴いた結果、新規顧客開拓や地元業者との取引深耕の成果が出てきています。

しかし、民間部門の営業は奥が深く、全社的なパワーの結集とともに外部のパワーも不可欠と考えた赤熊社長は上尾商工会議所に支援を要請し、アブセックから財務と外食産業の経験のある斉木兼芳さんが紹介され支援が始まりました。なお、上尾商工会議所では平成24年度から上尾アブセックと連携した「経営よろず相談」の制度をスタートさせており、そのタイミングとうまくマッチングできました。

斉木さんは、社長や幹部の皆様にも、不動産鑑定業の営業は「プル」型であるので信頼性と不動産鑑定の有用性を需要者に認知して頂くことの必要性の理解、意識を高めてもらうことから始めました。HPの活用・充実、取引先台帳の作成の方法、ABC管理手法等も皆で議論しました。さらに、金融機関には赤熊社長と同行営業を行うなど、座学と実践により営業力アップを図ってきました。

赤熊社長は、「アブセックの方々には豊富な経験をもとに、実態に沿った支援をしてくれるので感謝しています。特に、斉木さんは適切で対応が非常に早く助かっています。お陰で社員の意識や行動も変わってきていますが、民間部門の営業がパワーアップするまでには、時間もかかると思うので、引き続き今後とも支援をお願いしたい」と話されていました。(武藤記)

上尾商工会議所は、桶川市商工会・伊奈町商工会・北本市商工会・鴻巣市商工会と連携して  
県の中小企業支援事業であるエキスパートサポート事業に取り組んでいます。

ご意見・お問い合わせはこちらまで



上尾商工会議所 桶川市商工会 伊奈町商工会 北本市商工会 鴻巣市商工会  
アブセック事務局 TEL 048-773-2391 E-mail [abcec@ageocci.or.jp](mailto:abcec@ageocci.or.jp)